



北稲門会報

第32号
早稲田大学

題字：第13代総長 小山宙丸先生

【編集・発行】早稲田大学校友会 北稲門会
【発行所】〒114-0002 東京都北区王子 4-22-9 越野建設株内
北稲門会事務局 TEL. 03-3913-4511 HP: <http://www.kita-toumonkai.com/>

懐かしの



飛鳥山公園脇を早稲田に向け走る都電荒川線
正式名「東京さくら tram」

いつか来た道いろいろ



王子駅に並ぶ都電荒川線
早稲田行きと三ノ輪橋行き



(引用) 大隈講堂に向かって立つ大隈重信像
Waseda_University_2014_11

ご挨拶

北稲門会会長 田内 秀昭



北稲門会会員の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。

この一年間の北稲門会活動を振り返りますと、本年7月の総会においてご報告いたしました。計画された事業も会員皆様の協力・実行力により着実に進められ、多くの校友会・稲門会活動が展開され、活動の成果を上げた一年間でした。

母校の挑戦

母校早稲田大学では、早稲田大学創立百五十周年記念事業の中で位置付けとして、世界トップレベルの研究力を目指す「国際卓越研究大学」の二回目の公募に「文理融合と産業連携の先端研究を推進」をテーマとした研究力強化の計画を申請し再挑戦いたしました。この7月下

旬には審査員の面接・ヒアリングが実施され、採択結果は冬頃と報道されておりですが、この会報が発行される頃には、発表されているかもしれません。早稲田大学を含め8大学（早稲田以外全て国立）が申請しており、非常に厳しい状況ですが、久遠の理想に向かって挑戦を続ける母校を応援します。

総長選挙

来年、早稲田大学は四年に一度の総長選挙の年を迎えます。学校法人早稲田大学校規（寄附行為）に、総長ならびにその任期について、「同一人につき二期を超えて総長に選定することはできない」と定められています。従いまして、二期目を務めておられる、田中愛治現総長は任期満了となり自動的に交代されることとなります。早稲田大学は総長が校友会会長も務めることとなりますので、我々校友のトップにもなります。学内手続きを経て、来年6月下旬には第十八代の新総長が選出されることになると思います。北稲門会ではこれまで通り、あなたが総長に選出されても「会則」にあるように早稲田大学の発展に寄与し続けることに

変わりはありません。皆様今後ともよろしくお願い申し上げます。

当会の役員改選

来年7月の北稲門会総会では役員改選期にあたり、新役員を選出させていただきます。北稲門会会則では「役員任期は三年とし、重任を妨げない。選出は役員の互選により、総会において選出する」となっております。これまでにも、健康上の理由等により、任期中での一部交代はありましたが、手続きを踏んで行ってまいりました。来年は全員の任期満了に伴う選出となります。新態勢（案）の選出に向かつては、役員会で何度か協議を経て、年明け早々には、新態勢（案）の骨子を固め、4月から新年度には新態勢（案）をまとめたいと考えております。会員の多くの方々が役員を経験され、北稲門会の発展にご尽力くださるよう、希望いたします。

「集り散じて 人は変われど 仰ぐは同じき 理想の光」

よろしくお願ひします。

結びに、北稲門会会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

早稲田大学校友会 北稲門会新役員 (二〇二五年七月現在)

| | | |
|---------|--------|--------|
| 会長 | 田内 秀昭 | 北区赤羽西 |
| 副会長 | 石川 英夫 | 北区赤羽南 |
| 々 | 近藤 宏 | 北区滝野川 |
| 々 | 越野 允博 | 北区王子 |
| 々 | 鄭 英揆 | 北区王子 |
| （兼会計幹事） | 百武 秀男 | 北区上中里 |
| 幹事長 | 水野 浩治 | 北区十条台 |
| 副幹事長 | 齋藤 朋美 | 横浜市港北区 |
| 々 | 江中 桃子 | 北区滝野川 |
| 常任幹事 | 平野 喜和 | 北区西が丘 |
| 々 | 片山 郁夫 | 北区赤羽台 |
| 々 | 小宮山 庄一 | 北区堀船 |
| 会計幹事 | 木下 未来里 | 北区岸町 |
| 監事 | 林 靖昭 | 北区滝野川 |
| 々 | 大塚 浩二 | 北区田端 |
| 幹事 | 佐野 彰一 | 北区神谷 |
| 々 | 横田 美代子 | 北区豊島 |
| 々 | 梶村 政博 | 北区赤羽西 |
| 々 | 萩原 秀夫 | 北区田端新町 |
| 々 | 古田 しのぶ | 北区東十条 |
| 々 | 松村 譲裕 | 北区中里 |
| 々 | 佐塚 太一 | 千葉市美浜区 |
| 々 | 金沢 幸彦 | 北区田端 |
| 々 | 高橋 雄太 | 北区岩淵町 |
| 々 | 戸枝 大幸 | 北区田端 |
| 々 | 伊藤 蔵人 | 北区西ヶ原 |
| 相談役 | 北 雷次 | 北区志茂 |



越野建設株式会社

代表取締役社長 越野 充博 (57年商)

北区王子 4-22-9 TEL 03-3913-4511(代)

楽器対応賃貸国内シェアナンバーワン!



WEBはこちらから



自宅で楽器演奏を
満喫できる賃貸住宅

音楽マンション®

北稲門会 「第三十一回定例講演会」開催

2024年11月17日(日)

北とびあ16階1601会議室にて、田内秀昭会長の挨拶を皮切りに、第三十一回目となる定例講演会を開催しました。

今回は、ノンフィクション作家の長谷川晶一さんをお迎えし、「野村克也、森祇晶名将に学ぶ強い組織の作り方」と題した講演でした。講演前には、やまだ加奈子区長もご挨拶に駆けつけてくださいました。



越野充博副会長による、長谷川さんのご紹介後には、臨場感溢れる熱いお話を伺いました。長谷川さんの著書「詰むや、詰まざるや森・西武対野村・ヤクルトの2年間」から、森・野村両監督の野球ひいては組織に対する考え方の違いなどがお話の中心でした。球史に残る伝説の日本シリーズなどの動画を観ながら、試合の重要な局面において両監督がどういった判断を下し

選手にサインを送ったかを紐づく興味深い内容となりました。会場には野球好きの方が多く、試合の動画に、当時を思い出して懐かしんでいらっしやいました。チームを組織と捉えて、両監督の考え方は組織で働く時にも有益な知恵袋になると熱心にメモを取る方も多数、見受けられました。講演会は、百武秀男副会長の挨拶で閉会となりました。

講演会終了後、場所を17階とぎ17に移し、懇親会が開催されました。来賓を代表して新潟県支部新潟市稲門会小林健会長に乾杯の音頭を取っていただき、各テーブルでは長谷川さんを囲み、活発な意見交換が行われました。最後は阿部司会員のリードによる校歌斉唱、鄭英摸副会長による挨拶で閉会しました。参加者から長谷川さんへの質問が相次ぐ、アットホームで楽しいパーティとなりました。

【長谷川 晶一さん プロフィール】

1970年5月13日生まれ。東京都出身。
1994年、早稲田大学商学部卒業後、出版社に勤務。
婦人誌、男性誌の編集を経て、2003年にフリーランスに。
『NumberWeb』『デイリー新潮』『プレジデントオンライン』など連載多数。
主な著作にフジテレビで連続ドラマ化された『ダンス・ラブ・グランプリ』（主婦の友社）
『夏を救す』（廣済堂出版）
『プロ野球12球団ファンクラブ全部に20年間入会してみた!』（集英社）
『オレたちのプロ野球ニュース』（新潮文庫）
『中野ブロードウェイ物語』（亜紀書房）
『プロ野球アウトロー列伝 異端の男たち』（大洋図書）など。



昨年、ご縁があって北区稲門会に入会させていただきました。また、定例講演会の講師をさせていただく機会に恵まれ、生前の野村克也氏から伺ったお話を自分なりに再確認することができました。その節は誠にありがとうございました。その後も執筆活動を続けており、今春には『神宮球場100年物語』（朝日新聞出版）を上梓し、年末には早大の大先輩である、広岡達朗氏の46歳当時、そして93歳の現在を描いた新刊を発刊いたします。神宮球場にしても、広岡氏にしても、いずれも早稲田とゆかりのあるテーマを選んではしまうのは、私の中に今でも「早稲田大学」が息づいているからでしょう。ぜひ、早稲田の校友の皆様にお読みいただければ幸いです。

北稲門会一年間の活動報告

【早明ラグビー100回記念試合観戦】
2024年12月1日(日)
国立競技場

国立競技場で早明ラグビー戦の第100回記念試合が開催され、東京都23区支部のスポーツ観戦行事として、23区支部全体で約300名が参加しました。

試合は、佐藤主将を中心に優位に進め、後半に27対17とリードを広げ勝負あったかと思いましたが、終盤では明治の猛攻にあい、最後は3点差を守り切り27対24で対抗戦全勝優勝を飾りました。試合観戦後は、近くのグッドモーニングカフェを借り切り100名参加の祝勝会で盛り上がりました。

一昨年度はラグビー早慶戦100回大会、昨年度はラグビー早明100回記念大会と23区支部のスポーツ観戦イベントとして近隣稲門会との交流が深まっています。



【スイーツの会】
2024年12月4日(水)
早稲田大学校友サロン

恒例となりつつある今回で3回目。スイスと日本を行き来するお洒落なバイヤ



料を使用し、濃厚で滑らかな味わいを誇る世界的なブランドチョコ。当日はスイスから直に持参したトップブランドチョコがテーブルに並び、ブランド等も一緒に嗜みました。

なかでも12月の時期限定で販売されるマルミット(スूप型のチョコレート)を拳でかち割るジュネーブ式は、参加者が実際に体験し実食。クリスマスを前にスイス文化にも触れる魅惑のひとつとなり、高級チョコのお土産もありました。チョコレートの魅力を存分に味わうタベとなりました。

【北稲門会、2025新年会開催】
2025年1月26日(日)
北つばあ [QUAD17]

昨年に続き、新年に相応しく、窓から富士山が臨める王子・北とびあのライブスペースで開催されました。各会員から近況報告や今年の抱負を語り合い、後半はジャズ・ボサノバ歌手 EMIKO VOICE さんによるボサノバやフアドなどのミニ

ライブ、恒例のお楽しみ抽選会も行われました。EMIKO VOICE さんの演奏は、ジャズのスタンダードナンバー「Fly me to the moon」や、ポルトガルの民族音楽フアド「マリア・リスボア」など、バラエティに富んだ楽曲に参加者一同思わず聞き入っていました。

アンコールでは校歌「都の西北」のボサノババージョン。普段耳にしている校歌からは想像もつかない清らかな編曲と歌声に包まれました。



締めは校歌斉唱。2次会は王子駅前「さかなや道場」にて、賑やかに新たな年の始まりを祝いました。

【北稲門会新会員ウェルカムパーティー】
2025年2月27日(木)
赤羽「ラクレット×ラクレット」

入会1〜2年以内の新しい会員の方々との交流を深める新入会員歓迎会を、チーズ・イタリア料理店「ラクレット×ラクレット」で開催しました。各自、自己紹介の後、稲門会の最近の活動や今後の美味しいチーズ料理・肉料理やワインと共に楽しい夕べとなりました。

北稲門会では随時、新入会員を募集し、年数回、歓迎会を美味しいお店を探しながら開催しています。会員の皆さんの周りにも早稲田出身あるいは早稲田好きな方がいらつしやいましたら、ぜひお声掛けいただき、北稲門会にご加入いただければ幸いです。



【東京都二十三区支部大会】
2025年3月2日(土)
浅草ビューホテル

令和六年度校友会二十三区支部大会が開催されました。北稲門会からは田内会長、水野幹事長、以下五名が参加しました。今回のゲストはジョージアの駐日大使、ティムラズ・レジャバ氏。早稲田大学国際教養学部を卒業後、日系企業から外交官に。



その素晴らしきキャリアを大変ユニークな形で話いただき、会場は終始笑いに溢れていました。後半は懇親会と、恒例の校歌・応援歌で締めくくりました。支部大会は、他区の会員の皆さんとも交流できる良い機会でもありますね。ちなみに講演後にレジャバ氏のS

NSアカウントを検索し拝見させていただいたところ、とても面白くて素敵な投稿を毎日発信されていましたので、早速フォローしてみました。皆様も是非。

【千ペロの会】

2025年4月5日(土)十条「まるま」
2025年7月19日(土)浅草「丸太(うし)」

足立、荒川、台東、北区の下町の近隣稲門会での交流イベントとして、まずは気軽に参加できる千ペロ会を実施しています。お酒を愛し、嗜み愉しむ、「千ペロの会」。千円でペロペロに酔えるという「千ペロ」に相応しく、各区の名店を呑み歩き、既に主催担当の区が二回り目を迎えました。

北区主催は、前回の千ペロの聖地ともいえる赤羽「のんき」から、隣駅十条の「まるま」の美味しい焼き鳥、名物のつくねを食し、ホッピーを呑みながらのほろ酔い酒。台東主催は創業101年の老舗「丸太(うし)」で美味しいおでんをつつきながらビール、日本酒の下町酒と、呑んべえには魅惑の千ペロの会。下町四区の結果も呑む毎に強くなり、いい呑み仲間となつていきます。次回以降も安く、美味しい、各区の名店を訪ね呑み歩く千ペロ会に多くの皆さまの参加を歓迎、お待ちしております。



【北区六大学交流会】

2025年6月8日(日)
横井醸造工業見学会

北区六大学交流会(慶応、明治、立教法政、早稲田の5校)の第二回、慶応主催のイベントということで、横井醸造工業の見学会に参加しました。

(第一回は2024年4月に明治主催で青梅着物博物館見学会) 酔を作って80年



ミシラン獲得の寿司屋の7割にご愛顧いただいているとのこと、会社の歴史から始まり、酔の歴史、製造から健康レシピに至るまで大変勉強になる楽しいイベントでした。

酔のテイスティングも行い、酔への関心が非常に高まりました。終了後は鮭酒肴 杉玉 新木場で交流会を実施。各校との交流が深まり、次回当番は早稲田に決まりました。

【第三十二回定時総会・懇親会】

2025年7月12日(土)
北とびあ

総会は片山郁夫常任幹事の司会のもと、田内秀昭会長による挨拶から始まり、2024年度事業報告および2025年度事業計画案について水野浩次幹事長から、2024年度会計報告および2025年度予算案について百武秀男副会長から、新役員体制について田内会長から説明が



あり、いずれも承認されました。大学からは来賓として23区地域担当・矢作マナージャーから大学の近況について報告があり、近藤宏副会長の閉会の辞となりました。

懇親会は、会場をQ&A17に移し、学生、早稲田祭運営スタッフによる早稲田祭の紹介、パブロ賢次氏によるジャズ演奏、金沢幸彦幹事の人生劇場、忙しい中駆けつけた阿部司議員の校歌斉唱、最後は越野副会長の閉会の辞と、和やかな楽しい総会・懇親会で、交流が一段と深まったと感じました。

【おつまみの会】

2025年9月12日(金)
早稲田大学校友サロン

「美味しいおつまみってたくさんあるよね!」という若手校友たちの発案で、各自おつまみを持ち寄り「おつまみの会」が開催されました。



北海道のしいか、サーモン、秋田のいぶりがっこ、川崎の大師巻、徳島のフィッシュカツ、瀬戸内・熊本・福岡のおつまみやほたて貝ひも、鮭とば等々。他にも和洋取り混ぜた酒の

肴からオードブルまで揃い、お酒もすだし酒などが並びました。順に自慢の一品を紹介し、各おつまみにまつわる思い出話に花が咲きました。好評につき2回目の開催も予定しています。こんなおつまみを紹介したい、このおつまみこそお薦めだという一品がありましたら、ぜひ次回ご参加ください。

【北区区民まつり・似顔絵ブース出店】

2025年10月4日(土)〜5日(日)
北区王子・飛鳥山公園

今年も北区区民まつりに早大漫画研究会の学生さんをお呼びし、似顔絵ブースの出店を行いました。初日はあいにくの雨天となりましたが、雨の中大勢のお客様がブースを訪れてくださいました。続く二日目は暑いぐらいの晴天と、学生さんと会員の方々の頑張りで、二日間



で過去最高となる151件の来客数と売上を達成しました!毎年必ず楽しみに訪れてくださる方ももちろん、初めていらした方、皆さんに良い思い出を持ち帰っていただくことができました。北区在住の諸先輩方とお話する機会もあり、私たちが一層北区と早稲田の繋がりを強く感じた二日間でした。来年も記録更新を目指して頑張ります。

会員投稿コーナー

「飛鳥山 今昔物語」

一万年前、縄文海進により海面が館林くらいまで奥東京湾に広がり、三千年前くらいに今の地形になった。飛鳥山は東京低地武蔵野台地の境になり、縄文時代より人が住み、弥生時代には集落ができていた。鎌倉時代から室町中期まで豊島氏が統治し、奈良の吉野と関係があったため、吉野から若王子、飛鳥山権現を観請した。

江戸時代、この辺りは將軍の鷹場であった。紀州藩出身の吉宗が八代將軍になり、飛鳥山に旗本を移転させ、將軍の御施所を整備、飛鳥山を王子権現に寄進した。享保五年(一七二十年)桜二百七十本を植え、さらに翌年千本の桜を植え、



江戸近郊八景之内「飛鳥山暮雪」歌川広重(初代)

飲酒、妄想、上野寛永寺ではできなかつた無礼講を許し、当時都心から二里近くであり、日帰り可能で、多いに賑わい、女性達が互投げに興じ、妄想をして

井川を紀州に倣い、音無川の両端には、多くの茶屋ができ、春の桜、秋の紅葉、冬景色等江戸庶民のいこの場となった。また、江戸城にあった名石に、難解な由来を掘り、現在まで建っている。そのほか明治に入って、日本の三老農の一人、

船津伝次郎の碑、佐久間象山の桜賦が建っている。明治六年太政官布告により寛永寺、増上寺とともに、東京初の指定公園に認定された。明治三十四年渋沢栄一が飛鳥山の端に居を構え、外国、政府要人達を招いた。昭和十五年東京オリンピックの運動広場として西側の道路側が削られ、戦時中は陸軍訓練場、戦後は野球場として使用された。また、戦時中は運動場上の段差を利用して、約1kmの防空壕が掘られ、約千人が避難できていた。戦後は都から北区に移管され、現在の石畳みになった。現在は、飛鳥山の地下には、南北線、高速度道路、音無川のバイパスが通っている。

(一九六一年商学部卒 佐野彰二)

「KAMIYA Club G's紹介」

北稲門会の皆さま、初めまして。玉瀬理枝と申します。

私は早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業後、浦和レッズ、国立スポーツ科学センター、埼玉県広域スポーツセンターなどで勤務し、スポーツを通じた国や地域の活性化、地域スポーツ支援に携わってまいりました。

その後、結婚を機に北区に居を構えて約二十年。出産後、子どもが保育園に入れなかったことをきっかけに仕事を離れ、子育てと家事に専念する中で、「地域と人をスポーツでつなぐ場をつくりたい」との思いが芽生えました。その思いを形にしたのが、東京都北区神谷を拠点とする

「KAMIYA Club(カミヤクラブ)」です。KAMIYA Clubは「子どもから大人まで安心して集える「居場所づくり」を理念とし、スポーツや文化活動を通じて地域のつながりを育むことを目指しています。現在は女性向けのピラティス(火曜午前・金曜夜)を開催し、主に40〜50代の方が「妻でも母でもなく、自分自身に戻れる時間」としてご利用くださっています。また、月1回のフットサルでは、中高生やご夫婦が気軽にボールを蹴り、仲間と交流できる場を提供しています。



さらに、不登校や学校に行きづらい子どもと保護者を対象に「運動あそび」を実施し、安心して体を動かせる居場所づくりにも取り組んでいます。大人向けのピラティスも同時に行い、親御さんのリフレッシュにもつなげています。こうした活動は参加費で支えられています。こうした活動は誰もが参加できる環境を維持拡充するには安定した資金が不可欠です。私自身、早稲田での学びを「地域に役立てたい」との思いで活動していますが、持続的な運営には皆さまのお力添えが必要です。もし理念にご賛同いただけましたら、「寄付」という形で応援を賜れば幸いです。一口1万円のご支援で、子どもたちが安心して活動できる場をさらに広げ、地域の未来を支える大きな力となります。いただいたご厚意はすべてクラブ運営に充てさせていただきます。

これからも「地域に開かれた小さなクラブ」として一歩ずつ成長してまいります。

「カラオケ部会 再始動にあたって」

田内会長、水野幹事長のお勧めがあり、新参者の堀井がカラオケ部を再開いたしました。といっても、未だに会長、幹事長におんぶにだっこですが(笑)。

昨年(令和六年)の十月十九日午後五時より、東十条のスナック フラワー(03・3902・6717)に於いて、会長始め六名で開催いたしました。以後三月、五月に集まり七月の総会後の二次会でも大いに歌いました。毎回五名から十名弱の皆さんで自慢の喉を披露して頂いております。巷間言われている通り、唄を歌う行動は喉を鍛えて誤嚥防止に役立つ身体的な効用があるばかりでなく、ストレス解消や認知機能の維持など精神的にも効用が大いにあります。それも安



価に：又、歌を通して良い意味での世代間の意見の違い、隔たりが理解でき、世間を見る方向性まで発見できます。同世代の仲間と歌うのも良いですが、時には北稲門会のカラオケ部で先輩、後輩と集まり是非歌い合ってください。きっとコミュニケーションに役立つと思います。

今後は2〜3ヶ月に一回の例会の他に月一回程度カラオケボックスで開催したいと思っています。後日お知らせ致します。

最後に第二校歌 人生劇場の四番五番を記載します。

集まって皆で大声で歌いましょう。

四番 はした役者の 俺ではあるが

早稲田に学んで 波風受けて

行くが男の この花道を

人生劇場 いざ序幕

五番 早稲田なりやこそ 一目でわかる

辛い浮世も 楽しく生きる

馬鹿な奴だと 笑わば笑え

他人(ひと)にや言えない 心意気

(一九七一年 政治経済学部卒 堀井栄一)

「スイスと米国の二拠点生活」

私がスイスで生活を始めたのは、今から約二十五年前のことです。スイスは欧州のほぼ真ん中に位置する人口約850万人、九州とほぼ同じ面積の小国です。欧州にありながら即に加盟せず、独自の通貨スイスフランを使用しています。

国連の欧州本部がありながら、スイスが加盟したのは二〇〇一年九月。永世中立国ですが、徴兵制があり、傭兵がバチカン国およびローマ教皇の警護に派遣されています。政治的中立性から、三年前には米露首脳会談が開かれています。公用語はドイツ語、フランス語、イタリア語そして地元の言葉、ロマンシュ語。また国民投票の制度が確立していて、その結果、いまだに日曜日のスーパーを含む商業施設の営業は原則禁止です。

私が拠点としているのは、人口約20万人、スイス南西部に位置するジュネーブ市。フランスとの国境に近く、人の行き来も盛んです。スイスの主要産業は、職

人による時計作り、チヨコレート、さらには観光業が挙げられます。また世界各国の富裕層の資産を集めて運用するプライベートバンクのメッカです。



仕事内容は資産運用にとどまらず、富裕層ファミリーの様々なお手伝い、ご子息の教育、次世代への資産継承のお手伝いなど、

多岐に渡ります。ジュネーブは欧州以外の世界主要都市からの直行便がほとんどなく、その不便さ故に、世界の富裕層の資産をひっそりと守り続けてきました。厳格な銀行守秘義務や政治的中立性を保つことによって幾度の戦禍を逃れ、世界のマネーが集まってきたのです。近年では租税回避が問題視され、一部魅力は失われているものの、安心、安定性から魅力はまだ衰えていません。私はこうした国で資産運用ビジネスに携わってきました。

この仕事をする上では世界のマーケットの中心、米国にすることが情報収集をする上で優位だと感じ、約五年前よりモートでの仕事に切り替え、年の大半を米国シカゴを拠点にしています。米国第三の都市シカゴは人口約200万人。先物市場発祥の地とされています。また近代的な高層建築と歴史的建造物が調和した街です。プロスポーツも盛んで、全米で2番目に古い野球場を本拠とするシカゴカブス、かつてマイケルジョーダンが所属したシカゴブルズ、そして一番人気であるアメフトのシカゴベアーズがあり、一年を通してスポーツ観戦が楽しめます。ジュネーブまたはシカゴで皆様のお越し

をお待ちしています！

(一九八四年 政治経済学部卒 村田洋一)

「私の三十四年間」

北稲門会会員の皆様、いつもお世話になっております。二〇一四年に社会科学部を卒業いたしました木下と申します。

会報第三十二号の寄稿にあたり、「仕事について」のテーマをいただいておりますが、まずは自己紹介を含めて書かせていただきます。

私は一九九一年に東京都北区王子に産まれて以降、今日に至るまで三十四年間北区で暮らしております。所謂「ゆとり世代」と揶揄される世代でしょうか。子供の頃は飛鳥山公園や北とびあ等によく遊びに連れて行ってもらっていたのを覚えています。このまま恐らく北区が終の棲家となることと思います。赤羽にある中高一貫校では軟式テニス部にて六年間活動しておりましたが、あまり球技のセンスが無いのか万年レギュラー外でした。今でもゴルフやその他にお誘いいただき機会がよくありますが、自信が無いので全とお断りしています。何故か成績だけは良かったのでそのまま早稲田大学を受験し進学しましたが、何となく合格したので決めたというのが本音ではあります。また、恥ずかしながら学生時代の記憶



があまり残っておらず、恐らく勉強よりもアルバイトを楽しんでいたのだと思います。元来の大雑把な性格が奏功したのか、飲食店でのホール業は忙しくも大い

に楽しく働けました。高田馬場のピザ屋です。卒業後は証券会社に就職し、営業職となりました。まさに「証券マン」です。ガッツと多少の強引さが必要とされる仕事ですが、元々内向的な性格であるという自認であったため、果たしてやっていたのかという不安ばかりでありました。が、意外にも「提案して契約をいただく」という単調ながらも達成感を得られる作業に心酔し、気づけば生命保険会社に移り、現在は保険代理店にて営業活動をしています。

さて、北稲門会には既会員の方のご紹介で二〇二〇年(多分)に入会させていただきました。本業が金融商品の提案営業であるため、当初の入会理由には「顧客拡大の機会を得たい」という下心があったことはご容赦ください。今もありません。

私は大学卒業以降、早稲田大学関連の行事や繋がりに全く縁がなかったため、今では母校の先輩方と世代を超えて活動ができる場がある事を純粋に嬉しく思っております。同世代の会員が少ないのが少し寂しいので、北稲門会内にて同世代の仲間を増やすことをこっそり目標にしようかなと考えているところです。北稲門会の今後の発展を願って、引き続きお手伝いさせていただきます。よろしくお願ひします。

(木下未来里)

生損保乗合代理店 (株)東京海上あんしんエージェンシー



木下未来里(2014年社学)

TEL 080-2031-3655

新会員紹介

*佐塚太一さん

東京都世田谷区出身
 一九九五年人間科学部卒業
 2014年から5年間東京商工会議所北支部事務局を務め、その後目黒支部を経て、今年二〇二五年に北支部へ出戻りました。

*佐藤一毅さん

埼玉県出身
 一九九七年商学部卒業
 昨年北北豊島に。アクリルグッツ製造会社勤務で、川口稲門会にも在籍。趣味はテニス・読書・お酒。

*武井光さん

長野県佐久市出身
 二〇一二年創造理工学部卒業
 二〇一四年同大学院終了
 新卒でゼネコンの設計部に勤務後、現在は東京(赤羽)と地元長野の2拠点で建築設計を生業としています。

*竹内正信さん

東京都北区西ヶ原出身
 一九九二年理工学部工業経営学科卒業
 ゼネコンの都市開発部門に30年勤務しています。趣味は、テニス、ゴルフの他スポーツ全般、毎年同級生達と早稲田駅伝に出場するのが恒例です。

*田中翔太良さん

東京都豊島区出身
 二〇一一年人間科学部を卒業
 開発を支援する会社を立ち上げ更なる挑戦を継続。趣味はアメフト観戦。

❀新入会員勧誘のお願い❀

早稲田大学卒業生で、北区在住または北区に関係・関心がある方は歓迎です。お知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会のお誘いをお願いします！
 年会費は3,000円です。

【主な活動】

1月に新年会、7月に総会、11月に講演会を開催しています。その他、近隣地域稲門会との交流で箱根駅伝応援会や花火大会等への参加、また北稲門会独自のイベントとしてラグビー観戦会等へ参加できます。新潟市稲門会、秋田稲門会等との交流会も開催されています。

◆北稲門会事務局◆

越野建設(株)内 Tel:03-3913-4511
 E-mail:info@kita-toumonkai.com
 詳細は公式HPをご覧ください。
<http://www.kita-toumonkai.com>



編集後記

片山郁夫常任幹事から会報制作の任を引き継ぎました。ご教示いただき、深謝申し上げます。今号は総責任者田内秀昭会長、アドバイザー石川英夫副会長、副編集長玉瀬理恵さん、編集委員の片山常任理事、水野浩治幹事長、木下未来里会計幹事、坪川雅彦さんのチームワークで完成に漕ぎ着けました。ご執筆いただいた方々の北区愛、早稲田愛が端々から伝わってきました。ご協力、ありがとうございました。編集長：齋藤朋美

【会報編集委員募集!!】

会報作成に興味のある方、
 編集に携わりたい方募集中。

(株)日本農林社

代表取締役 近藤 宏 (44年教)
 北区滝野川6-6-5 TEL 03-3916-3341(代)

鷹の羽運輸株式会社

代表取締役 高橋 雄太 (平成元年理工)
 本社/北区岩淵町39-28 TEL 03-3902-2019

創業1923年 王冠・キャップ製造販売

株式会社 宝冠

代表取締役 野部 浩 (43年理工)
 北区豊島1-39-8 TEL 03-3911-3986

TEI リーガル・オフィス

Legal Concierge 鄭 英模 (46年政経)
 司法書士 マンション管理士
 北区王子3-19-11-1002 エステ・スクエア王子
 TEL 03-3927-8131(代) FAX 03-3927-8133
 E-mail: teione3@ace.ocn.ne.jp